

産学官民連携による能登半島地震被災地復興支援の事例報告

石川工業高等専門学校 学生会員 高藤良弘

正会員 廣瀬康之、豊田剛

1.はじめに

平成19年3月25日に能登半島地震が発生し石川県能登地方に甚大な被害をおよぼした。その中でも石川県鳳珠郡穴水町においては現在もまだ復旧復興の活動が継続している。今回とりわけ穴水町役場、穴水町商工会、商店街振興会、地域住民やNPO等、そして石川工業高等専門学校(以下石川高専)の連携により、活動を行った。被災地復興支援において産学官民が連携した事例について報告する。

2.学生支援GPについて

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的なプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取り組みを含む、優れたものが選定される。選定されたプログラムは広く社会に情報提供されるとともに、財政支援が行われ、各大学等における学生支援機能の充実が図られる。

石川高専では、能登中越地震で被災地となった穴水町を支援するため、復興に向けてのプロジェクトを企画した。その活動と穴水町との関わりについて発表する。

3.学生が中心となる活動

3.1 各活動チームの概要

穴水町の復興のために、石川高専では5つのプロジェクトを企画した。

・花時計の設計と製作

「能登地震被災地に、みんなが集い元気になれる花時計をつくろう!」という目標を掲げて、穴水町に大きな花時計を作ることを目指した。穴水町に設置する前にプロトタイプの花時計を製作し、石川高専内に設置した。(写真 1) 設

計と製作には数多くの話し合いと施工時の問題があった。この試作による課題と問題を、現地での設計制作施工に生かしていく。



写真 1:プロトタイプの花時計

・太陽光発電システム

花時計に太陽光発電で電力を供給するため、太陽光パネルの検討し製作した。(写真 2) また余剰電力を夜間照明に利用する。



写真 2:太陽光パネルの製作

・高齢者安否セルフケア確認システム

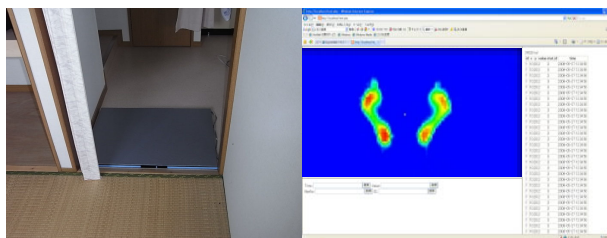


写真 3 圧力センサによる確認システム

災害後、仮設住宅に移ると生活環境が変化するため、愁訴という症状が出る。圧力センサ(写真 3)を用いてプライバシーを考慮しつつ仮設住宅の人たちが愁訴となる原因を調べ、

被災者に注意を呼びかける。今後の予定として、この圧力センサを実際の被災地に設置し、データの取得実験を行う。

・復興まちづくりプロジェクト

穴水町のまちづくりを計画する前に、穴水町のグラウンドデザイン(写真 4)を作り、穴水町を調べた。その結果、穴水町の川を生かした街づくりがよいと結論が出た。人にも環境にも優しい、持続可能な町づくりが検討された。



写真 4:グラウンドデザイン

・まちなみ修景プロジェクト

穴水町の産業・地形・建物の3種類を検討し、将来のまちなみの整備を行う。そのため雨水町において、文献による調査、地図の調査、現地の調査を行い、穴水町の模型製作(写真 5)を行った。



写真 5:穴水町の完成模型

3.2 穴水町での意見交換

穴水町でフォーラムおよび評価委員会を平成20年3月22日と8月23日に開催し、産＝穴水町商工会・穴水町商店振興会、官＝穴水町役場、学＝学識経験者(京都大学・早稲田大学教員)・石川高専教員および学生、民＝地域住民・NPO(能登復興いやさかフォーラム、特定非営利団体活動法人レスキューストックヤ

ード、穴水の未来を考える会等)が会し、各プロジェクトの説明および評価と対策を話し合った。

意見交換に出されたものとして、

1. 花時計や太陽光発電は、本当に穴水町に必要なものか、また地元のシンボルとなるのか？
2. まちづくりやまちなみのプロジェクトは今の穴水町の現状を教えてください。
3. 穴水町を教育・研究の実験場として町を元気づけてほしい。



写真 6:フォーラムでの意見交換

4.まとめ

1. 穴水町で行ったこれらプロジェクトにおいて、穴水町役場、商工会、商店街、NPO、地域住民、石川高専がひとつでも欠けていれば、議論されることは成立しなかった。
2. 各グループとも、評価・検討の実施によりプロジェクトに新たな課題をみいだした。フォーラムで意見交換されたことを次に生かせるように、課題に取り組む必要がある。
3. まちづくり、まちなみグループにおいては穴水町の現状において、話し合うことができた。しかし、花時計と太陽光発電のグループについては、製作の技術作りを進ませるあまり、穴水町の事情と若干乖離してしまった。地域での事前打ち合わせ等の話し合いの大切さ、技術者としてユーザや利害関係者を知ることの大切さを知る機会となった。